

四国圏広域地方計画学識者会議

～ 四国圏広域地方計画(素案)について～

素案概要

平成19年1月18日

四国圏広域地方計画推進室

広域地方計画全体の構成

第1部 計画策定の意義と計画の性格

第2部 四国圏の発展に向けた基本方針

第1章 四国を取り巻く状況

1-1. 社会潮流 1-2. 四国圏の特徴(四国の強み・弱み) 1-3. 四国圏の課題

第2章 四国圏の将来像

2-1. 基本方針 2-2. 四国圏の発展に向けた目標

第3部 四国圏の発展に向けた戦略的取組

第1章 安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国
～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～

第2章 地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国
～グローバル化を生き抜く産業群の形成～

第3章 歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、
人をひきつける四国 ～おもてなしの心あふれた癒しの実現～

第4章 東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国
～進取の息吹を与える交流の創出～

第5章 中山間地域・半島部・島しょ部や都市が補完しあい活力が
あふれる四国 ～農山漁村と都市の共生～

第4部 広域プロジェクト

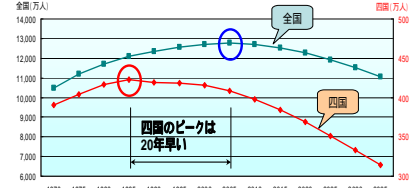
第5部 計画の推進にむけて

社会潮流

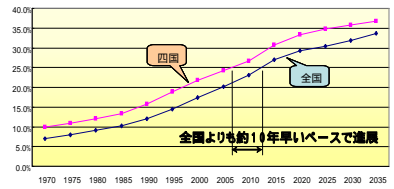
人口減少・高齢化の急速な進行

四国では人口減少が全国より約20年、高齢化が約10年早く進行

人口減少の推移



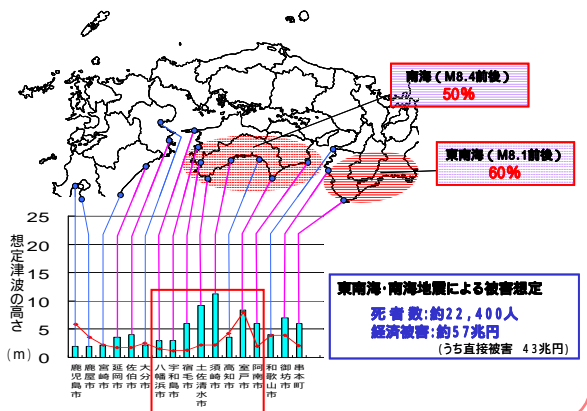
高齢人口(65歳以上)の割合の推移



災害・環境問題等の安全に対するリスク・不安の増大

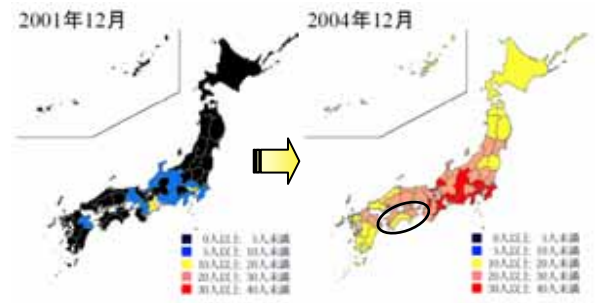
東南海、南海地震の高い発生確率

今後30年以内の地震の発生予測



高度な産業技術化・情報化の進展

ブロードバンドインターネットの普及が進行
100世帯あたりブロードバンドインターネット加入者数

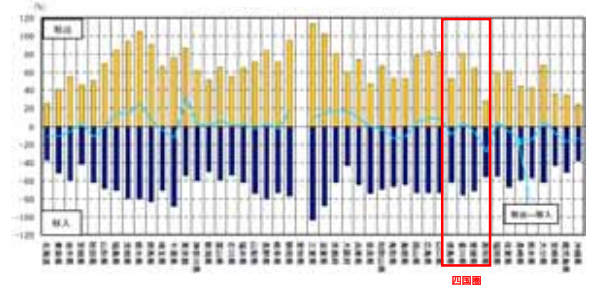


注) 東西NTT加入者回線を使用したDSL加入者数とCATVによる加入者数を加えたもの。光ファイバを利用したサービスは含まない。

産業・雇用構造の変化と地域間競争の激化

地方圏は、移入超で他地域に依存せざるを得ない傾向

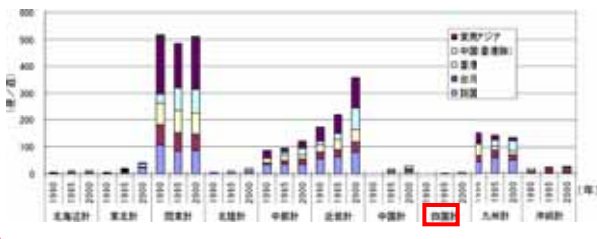
県別移出、移入の県内総生産比率(2002年)



注) 愛知県については移出、移入別の数値が公表されていない。

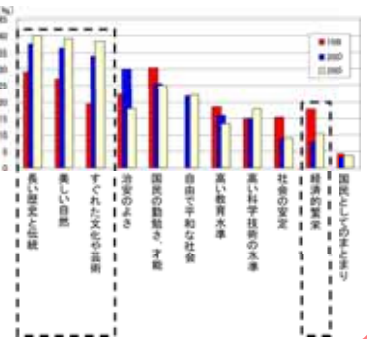
広域交流の拡大・グローバル化の進展

対東アジアの就航便数が増大
地域ブロック別空港定期便就航便数(対アジア)



価値観・ライフスタイルの多様化と心の豊かさの重視

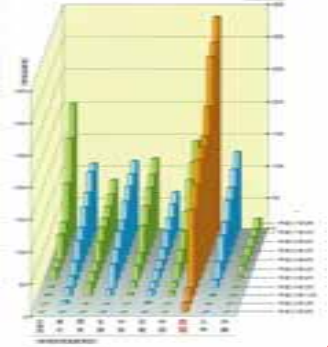
歴史・伝統、自然、文化、芸術等への思いの高まり



日本の国や国民について誇りに思うこと

「新たな公」の役割の重視

ボランティア団体数は年々増加傾向



直轄国道におけるボランティア団体数

四国圏の特徴(強み)

美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在

美しい風景や独自の歴史・文化が存在し、日本の原風景が残る

美しい自然景観



だるま夕日
(高知県宿毛市)



小豆島
エンジェルロード
(天使の散歩道)
(香川県土庄町)

個性的な歴史・文化の存在



八日市・護国の
まち並み
(愛媛県内子町)



遊子の段畑
(愛媛県宇和島)

お遍路やお接待等の独自の文化が受け継がれている

四国伝統の普請やお接待の精神



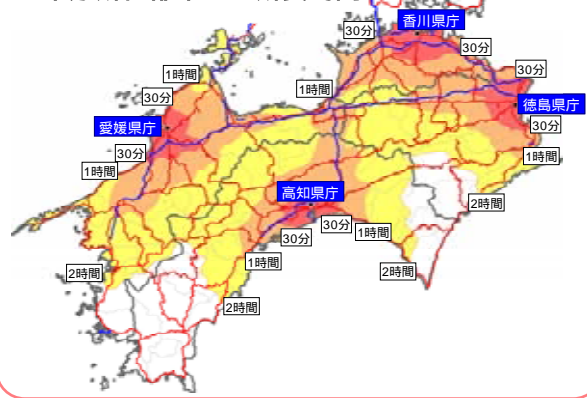
四国伝統のお遍路文化とお接待の精神



多様な地域の存在と相互の地理的な近さ・交流の可能性

中山間地域の集落からも、概ね90分で県庁所在都市まで交流が可能

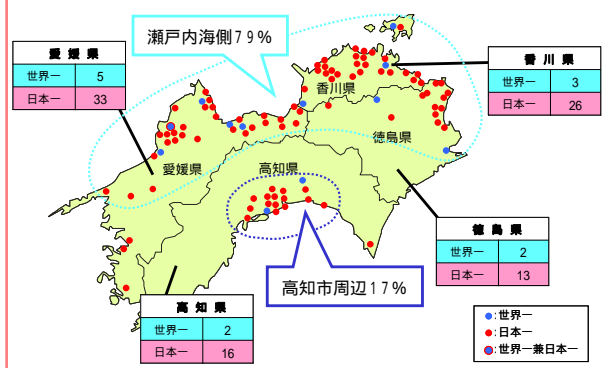
県庁所在都市への所要時間



確かな力ある産業の存在

瀬戸内海側、高知市周辺を中心に、日本一、世界一のシェアを占める企業が存在

四国における日本一、世界一企業の分布



個性のある一次産業、食等の存在

各県を代表し、全国的にも知られた食品・食材が存在

代表的な食品・食材



さぬきうどん(香川県) かつお(高知県)



阿波尾鶏(徳島県)



ジャコ天(愛媛県)

人材育成活動の活発化

- 高知工科大学では、山間部の学校教育と健常高齢者の活躍の場を創出する「創知の杜」プロジェクトの実施
- 魅力を案内できる人材育成と観光客のおもてなし充実のため、四国観光検定試験を実施

創知の杜のイメージ



四国観光検定

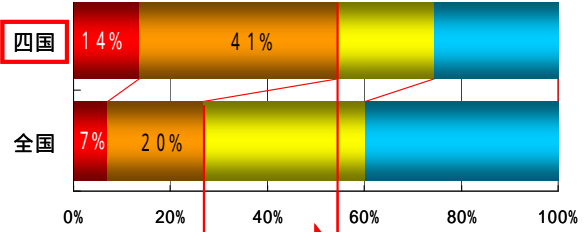


四国圏の特徴(弱み)

厳しい地勢・自然条件

急峻で危険な地域に暮らす人の割合が全国の2倍以上

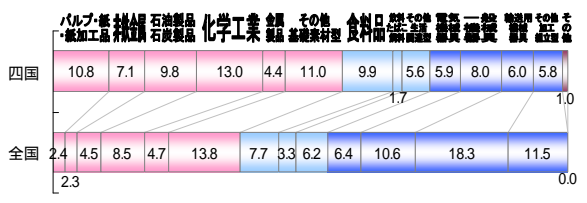
傾斜度別人口割合



産業集積・企業集積の不十分さ

- 加工組立型産業のウエイトが全国に比べて低く、基礎素材型産業や生活関連産業のウエイトが高い構造
- 加工組立型では、我が国の産業を牽引し、波及効果の高い先端分野（IT等）の産業集積が少ない

製造品出荷額等による業種別構成比(平成17年)



社会経済面・生活利便性面の格差とインフラ整備の遅れ

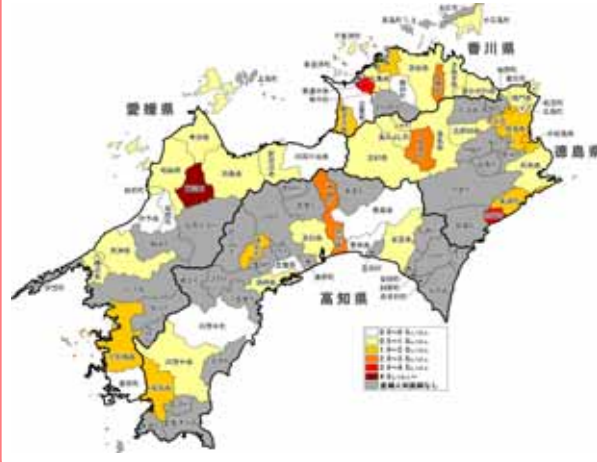
高速道路網の整備が遅れ、高速道路網の空白地帯が存在

高速道路網等の整備状況



中山間地域から半島部にかけて、産婦人科医師が存在しない市町村が多数存在

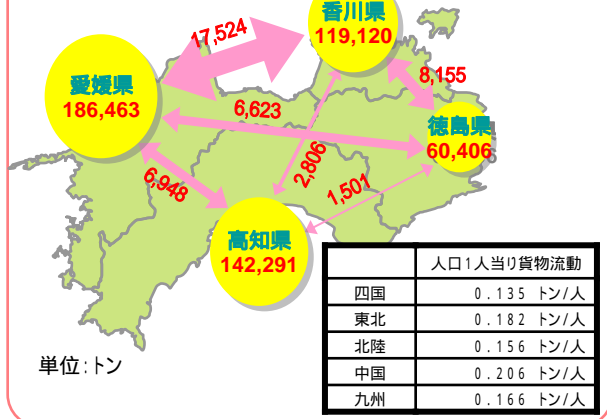
人口1万人当り産婦人科医師数



四国圏内外との連携・交流の弱さ

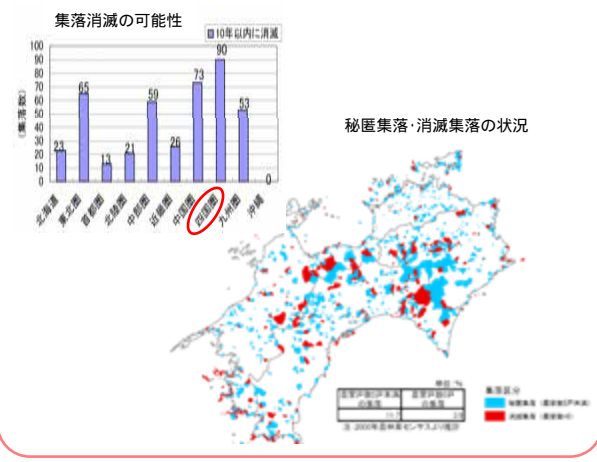
圏域内の貨物流動は、他の圏域と比べ低調で、圏域内の交流が弱い

圏域内の貨物流動



人口減少による国土の荒廃・喪失

消滅集落、秘匿集落が、中山間地域に多く分布



四国圏の課題

人口減少 少子高齢化が全国平均より早く進行する中での圏域の発展
全国より約10年早い高齢化の進行
多様化する価値観・ライフスタイルに応じた地域の魅力の不十分さ

災害や環境に対する安全・安心の確保

- ・東南海・南海地震による甚大な被害想定
- ・土砂災害の危険性の高さ
- ・湧水被害の頻発
- ・自然環境の喪失の進行

外部環境変化に対応した産業活性化の展開

- ・産業活性化に向けた連携や基盤の充実・活用の不十分さ
- ・既存の産業集積や地域資源の活用不足

豊富な地域資源の活用と魅力の創出

- ・豊かな地域資源の認知度の低さ
- ・日本の原風景の保全と継承に対する懸念の拡大

圏域内外における結びつきの強化

- ・交通ネットワーク基盤の整備や他圏域とのアクセス性の弱さ
- ・圏域内の交流の弱さ

中山間地域、半島及び島しょ部等の活性化と都市における活力の向上

- ・基礎的條件の厳しい集落が多数存在
- ・耕作放棄地の増加などの国土荒廃の懸念
- ・一次産業の低迷
- ・中心市街地の空洞化

四国圏の将来像

基本方針

地域の強みを活かし、圏域全体の連携によって自立的に発展する

「癒やしと輝きのくに」 四国の創造

心の豊かさを求める社会の潮流に応え、四国圏独自の「癒やし」の魅力を活用し、四国の住みやすさを高めつつ、訪れる人を増やす！

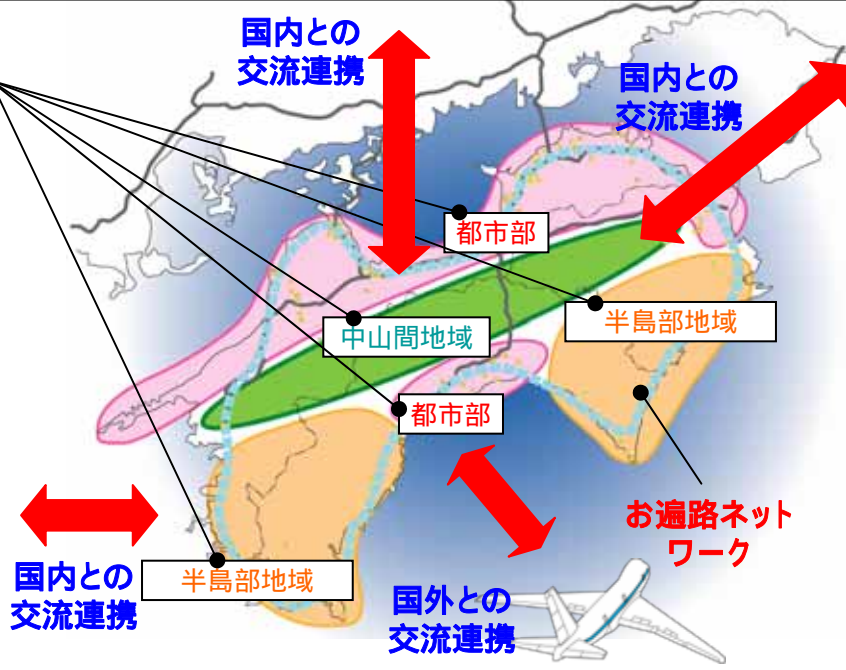
特色ある企業や全国的に認知度の高い食品・食材など地域資源を活かしつつ、絶えざるイノベーションにより経済活力を高める！

《基本方針の考え方》

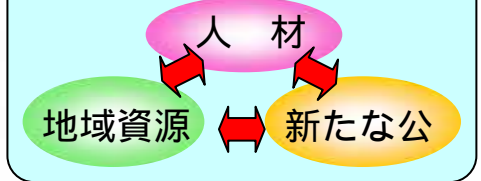
他圏域や東アジアとの競争を支える環境づくり

独自性、個性を活かした地域づくり

圏域内の役割分担と戦略的連携による新しい四国圏の価値を創出



「担い手となる人材の育成」「地域資源の活用」「『新たな公』の構築」が必要



全国、世界との交流連携を深めることにより、さらなる活力を創出

四国圏の発展に向けた目標

安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国

【目標】 災害に強い地域をつくる 自然・地球環境との調和を高める 地域の暮らしの快適性を高める

人材・担い手育成

防災意識の醸成や自主防災組織の確立
環境保全活動を牽引する人材の育成と組織づくりの支援




地域づくりを担う人材育成
(新たな公)
高齢者の知恵・経験の活用



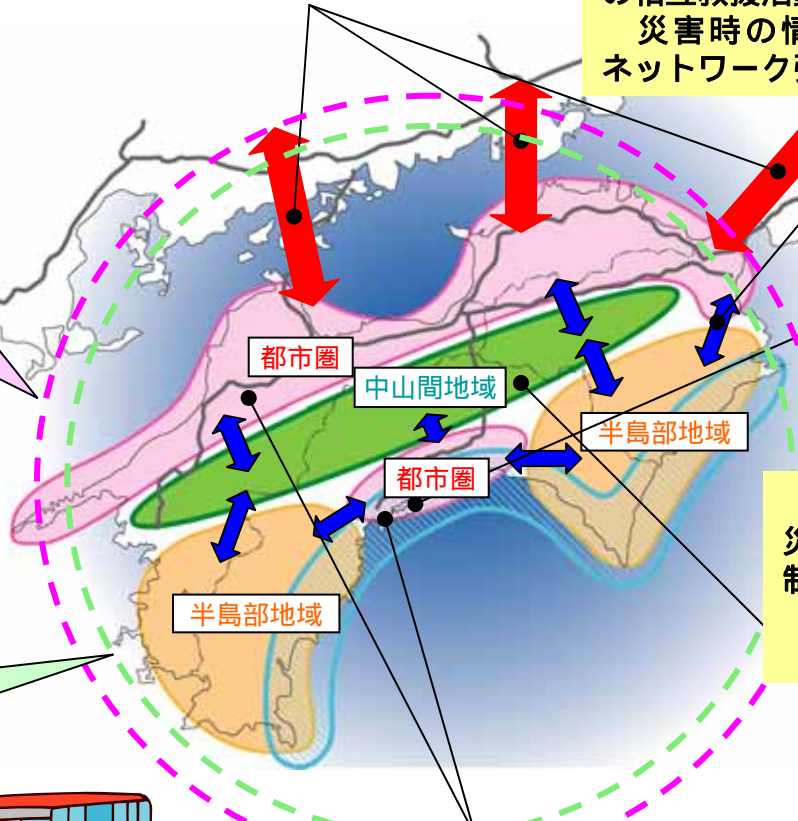
暮らしの快適性

バリアフリー化による住みよい居住環境の形成
安全・安心な交通環境の形成
犯罪のない地域づくり
医療サービスの充実
多様な主体が参加できる仕組みづくり



大規模な災害発生時には広域的な応援体制が機能

各地の災害情報が共有され、都市と集落間などの相互救援活動が展開
災害時の情報・交通ネットワーク強化



津波や高潮等の発生予想箇所における被害の抑制



集中豪雨や台風などによる土砂災害の頻発箇所における被害の抑制
自然環境の保全や生態系の保護
山林や河川の適切な管理

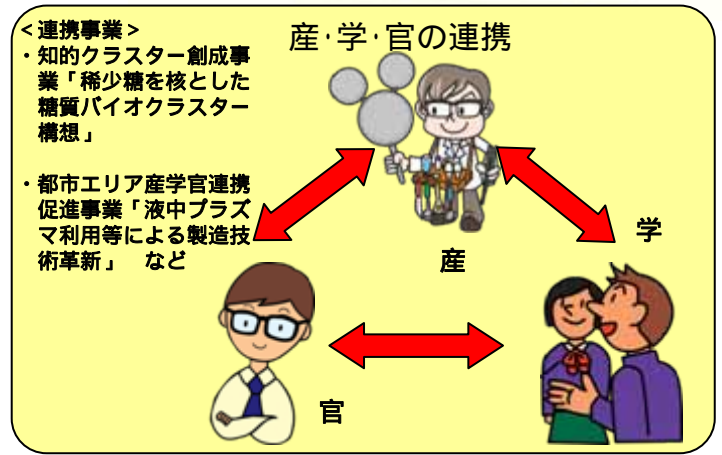
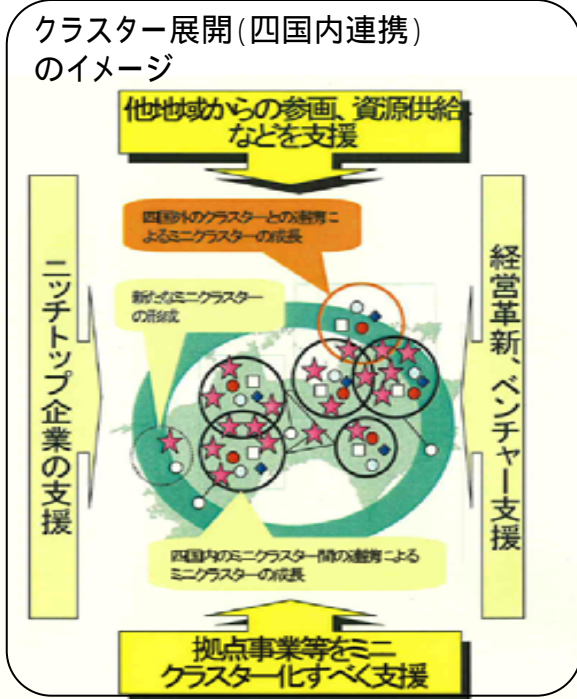
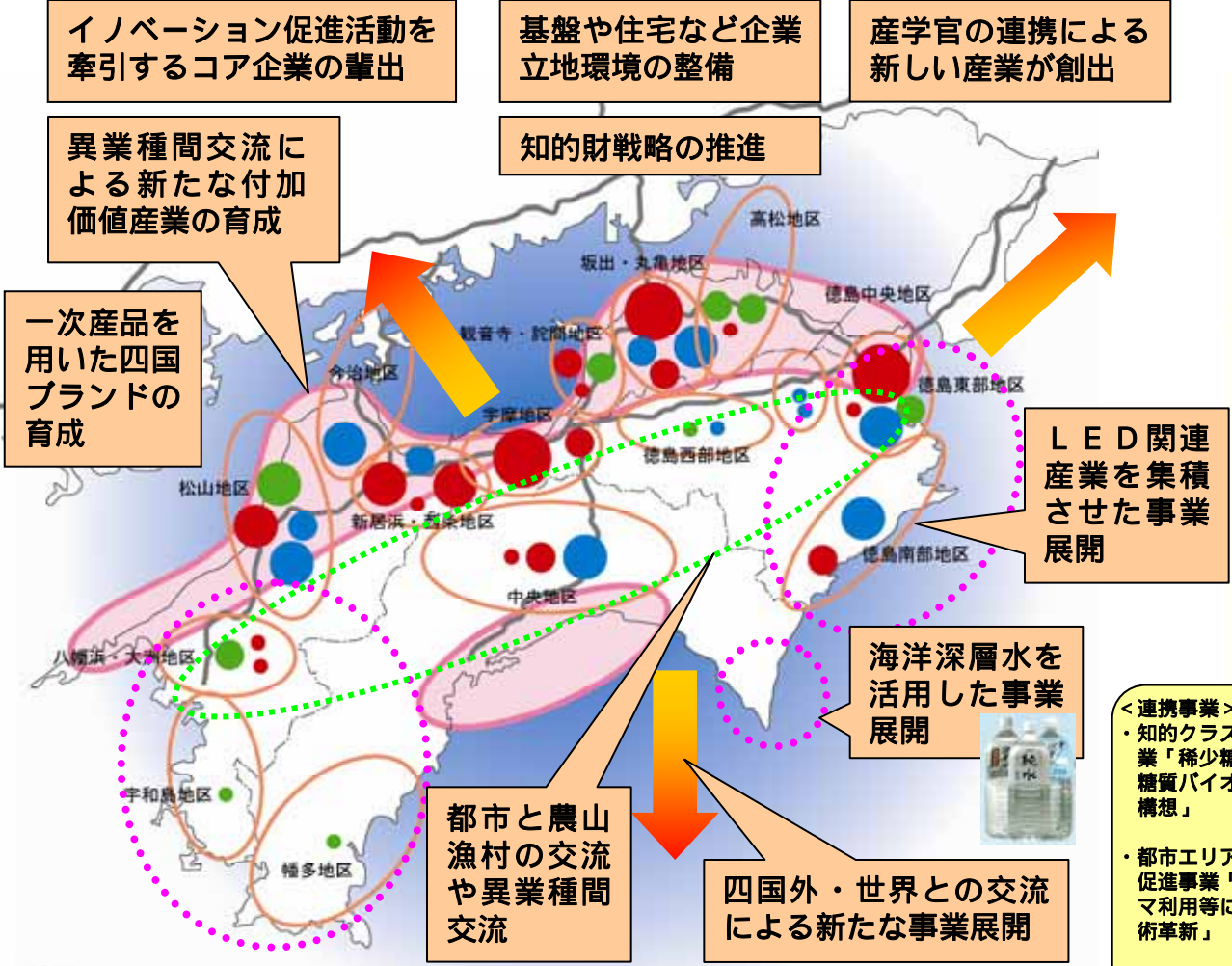
建築物や構造物の倒壊や密集市街地における火災等の被害の抑制
水資源の有効利用や合理的な恒久対策



四国圏の発展に向けた目標

地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

【目標】 絶え間ないイノベーションにより世界に通用する産業を育てる 多元的成長力を持つ産業集積を高める



四国圏の発展に向けた目標

歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

【目標】 美しい風土を形成し、地域の魅力を高める

歴史・文化的資源を継承し地域の独自性を発揮する



棚田のオーナー制度や花いっぱい運動によって美しい景観を保全



山
森林保全活動によって良好な森林を保全



田園
美しい河川の景観に馴染み、環境に配慮した多自然型護岸の整備

河川の清掃活動による美しい河川の創出



川
アドプト・プログラムやクリーンウォークなどによる美しい景観を継承する人材を育成



海



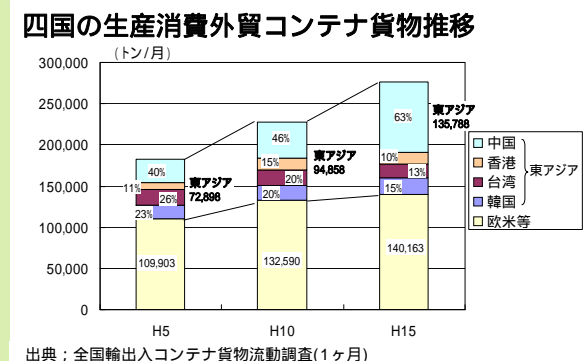
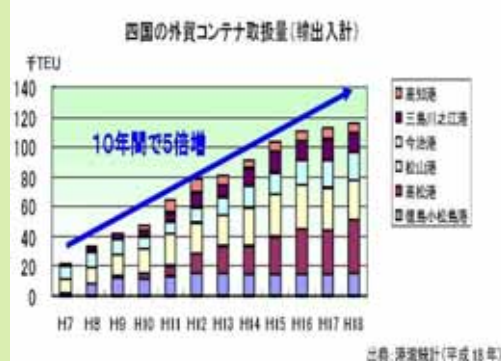
地域の歴史・文化を継承し、発信していく人材の育成と四国外へのアピール戦略の強化

直立堤の線の防護から、景観に配慮した面的防護に改良

四国圏の発展に向けた目標

東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国

【目標】 東アジア世界との交流を活性化する 環瀬戸内圏や全国との交流を活性化する 圏域内の交流を活性化する



四国での受け入れ体制の強化

56% 他地域港湾
利用比率

44% 自ブロック内港
湾利用比率

2003年

四国の港湾利用の増加

国際的コミュニケーション能力を備えた人材の確保・育成

A空港 B港湾

A港湾 B空港

相互利用により四国内空港の利用者が増加



四国圏の発展に向けた目標

中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国

【目標】 農山漁村（中山間地域等）の暮らしと環境を支える

都市の魅力・快適性を高める

地域コミュニティを担う人材が育っている

中山間地域

日常的な買い物ができたり、診療が受けられる

半島部・島しょ部

集落間及び都市部をつなぐ公共交通が利用しやすい

中山間地域等の人は、医療や買い物、娯楽などの日常生活に係るサービス機能を求めて都市部へ

UIターンや短・長期滞在者の受け入れによって人が増えている

農林水産業の再生

新たな公、ボランティアが育ち、活動している



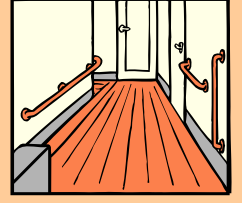
交通利便性の強化

都市部

都市機能の集積したにぎわいある中心市街地



高齢者等が生活しやすい住環境



都市部の人は、精神のリフレッシュ、自然とのふれあいを求めて中山間地域等へ



多様な主体が参加できる個性あるまちづくり

